4年	科目	技術英語I	講義	後期	担当	宮下　真信
制御情報工学科		Technical English I	必修	1学修単位（講義30+自学自習15）		MIYAHISTA Masanobu

授業の概要

科学技術の世界では、英文による論文、仕様書、マニュアルを書くことや読むことは必須である。学術論文では、正確に(Correct)、明確に(Clear)、簡潔に(Concise)表現することが必要となる。ここでは、学術論文の構成や典型的な論理展開について講義すると共に、これらの3つの要素を満たすための英文での表現方法について講義する。

本校学習・教育目標（本科のみ）		目標	説明
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）	実践指針（プログラム対象科目のみ）	実践指針のレベル（プログラム対象科目のみ）
D. コミュニケーション能力を備え、国際的に発信し、活躍できる能力	(D2) 自己の研究成果の概要を英語で記述し、発表することができる。	(D2-2)自己の研究等に関連する英語の短い記述や論文を6割程度理解できる。

授業目標

1. 論文全体の構成、パラグラフ、センテンスにおいて、正確に、明確に、簡潔に記述するための基本事項を習得する。
2. 論理的な文章を書くために必要な英文法や数式、数の表現などの基本事項を習得する。
3. 英文abstractが書けること、英文でのプレゼンテーション方法を習得する(D2-2)。

授業計画

第1回	ガイダンス	技術英文とは？学術論文の構成。Correct(正確), Clear(明確), Concise(簡潔)に書くとは？
第2回	技術英語の基礎	センテンスとパラグラフ
第3回		文書のきまり。ピリオッド、コンマ、コロン、セミコロンの使い方
第4回	文法I	名詞の取り扱いと冠詞
第5回		主語と動詞。5文型（技術英語で好まれる文型）
第6回		時制（過去形、現在形、現在完了形の使い方）
第7回		受動態と能動態（受動態で表現する場合）
第8回	前期中間試験	
第9回	文法II	助動詞、前置詞
第10回		to不定詞と動名詞
第11回		現在分詞と過去分詞（格調高い表現としての分詞構文）
第12回		比較の表現。数式や数の表現。
第13回		関係代名詞と関係副詞
第14回		英文の書き方（短文を関係詞、接続詞でつなぐ）。論文の構成方法
	前期末試験	
第15回		まとめ

評価方法と基準	中間試験（40%）と期末試験（40%）、英文abstractの作成課題（20%）で評価する。
教科書等	講義資料を配布（各自ダウンロードして出席のこと）。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。